



## 中島選手のすごいところ



©Fujitsu

400mの日本記録保持者であり、2025年世界陸上では同種目で日本勢34年ぶりの決勝進出、史上最高位の6位に輝く快挙を成し遂げました。きついラスト100mでもフォームを崩さない圧倒的なスパート力で、世界の強豪と渡り合う姿は圧巻です。



©Fujitsu

**富士通陸上競技部監督 高橋健一さんより**  
9月の愛知・名古屋2026アジア競技大会では、既に400mの日本代表としての出場が内定していますが、ぜひ400mでのメダル獲得とさらなる日本記録の更新を期待しています。



### Episode 1

#### 立川シティハーフマラソンに招待出場!

立川シティハーフマラソンでもよくお姿を見かける岡田さんは、2024年大会、2025年大会と1マイルレースの記録を連発。2026年大会ではハーフマラソンに出場。じゃんけん大会にもご登壇いただくなど会場を沸かせていました。

### Episode 2

#### 立川のグルメで育った子ども時代

旧第一アパート「サンモリ」の大好きなミートソースやピラフを食べて育った岡田選手。小学生から通うラーメン店「鏡花」も大切な場所。デフリンピック前に店主から頂いた「頑張りよ」という温かい激励が大きな力になったそう。

### Episode 3

#### 結婚が大きな力に

2025年7月に台湾出身の方と結婚。文化や言語の違いを尊重し合い、対話を重ねる日々の中で「違いを受け入れることで視野が広がり、毎日がより豊かになった」と語ります。

#### Profile

立川市出身。1997年8月12日生まれの28歳。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社所属。立川シティハーフマラソンに招待選手として出場するなど、市とのゆかりが深い日本デフ陸上界のエース。

立川市出身  
デフ陸上日本代表

岡田海緒さん

## Interview

### 夢を叶えるという強い意志だけは忘れずに

——市民栄誉表彰を受けた感想を教えてください。  
競技をしていてたくさんの方から応援いただけますが、地元の方々に応援していただける選手になるのが一つの目標でもありました。身近な人に応援してもらえるのは格別で本当に光栄なことだと思います。ありがとうございます。  
——夢を叶えるためにどのような努力をしてきましたか。  
小・中学校時代の親友がライバルで、



## 市民栄誉表彰記念 立川市出身二大 アスリートへインタビュー

# 舞台は世界、原点は立川。

日本陸上界をけん引し、世界の舞台で躍動する中島佑気ジョセフさんと、岡田海緒さんは、ともに立川市出身のアスリート。に勇気を与えるお二人の原点や素顔、その魅力に迫ります。

と、岡田海緒さんは、ともに立川市出身のアスリート。に勇気を与えるお二人の原点や素顔、その魅力に迫ります。

## Interview

### 「違い」を大切に、自分らしく前に進んで

——市民栄誉表彰を受けた感想を教えてください。  
市出身のアスリートとしてデフリンピックに参加したことにより、立川市のアピールに貢献できたのではないかと、とても嬉しく思っています。2029年のデフリンピックに向けて、市民の皆さんのためにも頑張っていきたいです。  
——立川市民の皆さんに伝えたいことはありますか?  
「完璧より前進」という言葉を、いつも心の片隅に置いています。競技の世界はうまくいかないことのほうが多く、むしろ失敗の連続です。完璧を目指すよりも、一歩ずつ前に進むことが重要だと思います。練習ではたくさん失敗していい。失敗を恐れては、本番でそれ以上の力は出せません。失敗の原因を知り、次に生かすことが成長につながると信じています。皆さんも積み重ねてきた自分を信じ、自信を持って挑戦してください。



## 岡田選手の歩み



## 岡田選手のすごいところ



©一般社団法人日本デフ陸上競技協会

800m・1500m・1マイルの日本デフ記録を保持する、女子デフ陸上界の第一人者です。東京2025デフリンピックでは陸上競技日本代表の主将を務めるなど、確かな実力とリーダーシップでチームをけん引。音のない世界で、研ぎ澄まされた感覚を武器に静寂を駆け抜けます。

#### 日本女子体育大学恩師 井筒紫乃先生より

ひたむきに努力を積み重ねる姿と、周囲を明るくする笑顔が岡田選手の強みです。その前向きな姿勢が、これからも多くの人に勇気を与えると信じています。



実は彼に勝てなかったせいで400mを始めました。悔しい思いもたくさんしましたが、彼がいたからこそ今の自分があります。陸上人生は決して順風満帆ではなく、大きなけがで1、2年ほど競技を休んだ時期もありました。それでも「夢を叶える」という強い意志だけは、一度も忘れたことはありません。大切なのは、夢を絶対に忘れないこと。そして「自分にはそれを叶える力がある」と信じ抜き、地道に一歩ずつ進むことです。その積み重ねがあったからこそ、今の自分があると思っています。  
——さまざまな個性をもつ子どもたちへのメッセージをお願いします。  
「みんなと同じじゃなくてもいい」ということ。それぞれが多様性の本質だと思います。周りの友達と違っていいんだよということを僕は伝えたいです。人にはそれぞれ「オリジナルの夢」があり、やりたいことも好きなことも一人ひとり違います。まずは自分の目標から逆算してみてください。そして、自分の力を信じて、周囲の困難に負けずに突き進んでほしいです。「周りと違うことをやっていいんだ」という勇気を持って、あなただけの夢を大切にしてください。



立川市出身  
陸上日本代表

中島佑気ジョセフさん

#### Profile

立川市出身。2002年3月30日生まれの23歳。身長192cm。富士通株式会社所属。小1・小2の卒業生で、1月23日には小1で特別授業の講師を務めた。テレビや雑誌などメディア露出も多数。

### Episode 1

#### 夢を宣言した小学生時代

小1の卒業式では、壇上で一人ずつ夢を語ります。小6の中島選手は「陸上で東京五輪に出る」と力強く宣言。その夢は形を変え、世界陸上やパリ五輪での躍進へ。当時の誓いを超える輝きを世界で放っています。



陸上を志す前は少年サッカーチームにも所属(写真右)

### Episode 2

#### “読書家”な一面も

「本を読むと今を生きる言葉がもらえる」という中島選手は、実は週に2冊ほどを読む読書家。遠征先には本を必ず携帯するといします。山崎豊子やドストエフスキーなどをたしなむそうです。

### Episode 3

#### 小さい頃の遊び場は 諏訪の森公園

小1出身の中島選手は、よく諏訪の森公園や多摩川などで遊んだそうです。「立川市の豊かな自然環境の中で遊びのびと体を動かして遊べたことが、今の自分に繋がっている」と語ってくれました。



市公式 LINE (右2次元コード) からお二人に応援メッセージを届けよう!

- 受付期間 3月22日(日)～4月6日(月)
- 注意事項 ▷「市公式LINE」の友だち追加が済んでいない場合は、先に友だち追加を行う画面が表示されます▷市が承認したメッセージは他の参加者が閲覧できます(承認までに時間がかかる場合があります)▷応援メッセージは、市がご本人にお届けします。

